

【非営利活動／学生団体】

国際学生シンポジウム 様



国際学生シンポジウム運営委員会は、学生による日本最大級のディスカッションイベントです。「世界の諸問題の開発の契機となる最高の議論の場」を目指し、学生と社会人が「開発」や「紛争」「環境」などをテーマに議論をします。

国際学生シンポジウム、資料を基点にしたコミュニケーションで200人が参加する学生イベントを成功に

□ プロジェクトの概要

国際学生シンポジウム運営委員会は、学生による日本最大級のディスカッションイベントです。「世界の諸問題の開発の契機となる最高の議論の場」を目指し、学生と社会人が「開発」や「紛争」「環境」などをテーマに議論をします。1987年に発足し、2012年に開催した34回目のシンポジウムには約200人の参加者が集まりました。

□ プロジェクトの課題

第 34 回の運営メンバーは 34 人。東京大学や一橋大学などの国立大学、早慶上智などの私立大学の学生が参加しています。1 年という長期間でシンポジウムの運営準備を進めます。そこで大切になってくるのは、企画やイベント運営のマニュアルなどの資料データの共有です。

2012 年の運営では、500 個以上の文書ファイルをやりとりしました。当初メーリングリストを使っていたのですが、共有する資料の数が膨大になるにつれ、メンバーがファイルを探し出せないようになりました。このままではシンポジウムの運営に支障が出ると思い、メールに代わる情報共有の仕組みを探し始めました。

□ 導入効果

サイボウズ Live「共有フォルダ」を活用することで、各チームのファイルの保管先が明確に分かるようになりました。フォルダをカテゴリ分けして、報告書や引き継ぎなどの用途に合わせて保管しています。運営メンバー全員が「自分が今、必要としているファイル」を素早く探し出せるようになりました。

共有フォルダや掲示板などの機能が統合されているサイボウズ Live を使ったおかげで、ファイル整理に加え、資料を基点にしたイベント運営のコミュニケーションができるようになりました。

□ 特長的な運用方法

1. 共有フォルダを用途別にカテゴリ分け。保管ルールを統一し、他グループにも適用

「第 34 回国際学生シンポジウム運営委員会」というグループに、メンバー 34 人が参加しています。部署の 1 つ「渉外局」でファイルを共有する際には、共有フォルダは「週報」「資料」「引き継ぎ」「報告書」といったカテゴリに分けています。用途に応じて保管ファイルを参照できるようになりました。

The screenshot shows the Cybozu Live interface for a group named '第34回国際学生シンポジウム運営委員会'. The top navigation bar includes 'サイボウズLive', 'ホーム', 'グループ', and 'マイカレンダー'. Below the navigation bar, there are tabs for 'トップページ', 'イベント', 'ToDoリスト', '掲示板', and '共有フォルダ'. The '共有フォルダ' tab is active, showing a list of folders on the left and a file list on the right. The folder list includes '【報告書文面】企画コンテンツ (2)'. The file list shows two files: '報告会準備.docx' and '横断ディスカッション.docx'.

共有フォルダに資料を整理

渉外局以外のグループでも、同じようにカテゴリを分類しています。運営局ごとにファイルの分け方が統一され、どのチームメンバーも簡単にファイルを見つけ出せるようになりました。500以上のファイルを秩序立てて保管できるのは、サイボウズ Live ならではのメリットです。

2. 分科会の URL を「共有リンク」に登録、所属以外のグループにアクセスしやすくなる

グループトップ画面の右側にある「共有リンク」が便利でした。運営局や分科会ごとにサイボウズ Live でグループを作り、その URL を共有リンクに登録しておきました。

🔗 リンク集

✎ 編集する

- 🔗 SYMPO34広報局
- 🔗 sympo34企画局
- 🔗 日本社会分科会
- 🔗 社会倫理分科会
- 🔗 経済政策分科会
- 🔗 紛争分科会

サブグループの URL をリンク集で共有

メンバーの多くは、団体全体グループのトップ画面を最初に開きます。そこに共有リンクを設定しておくことで、自分の担当していない分科会で情報が更新された場合も、スムーズに確認できるようになりました。

イベント運営では、全員が参加するグループのほかに、部署ごとにグループを作ることも多いです。Web ブラウザのお気に入り登録も良いのですが、各メンバーが登録をしないとけません。共有リンクは誰でも設定できるので、各メンバーの登録の手間を減らすことにもつながりました。

2013/04/15